

事務事業名		放射性物質被害畜産総合対策事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																																
政策体系	政策名	015 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目																																
	施策名	210 地域の特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業																												
	基本事業名	011 農業経営の安定化				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成24 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	06	01	04	10																												
根拠法令		岩手県公共牧場利用自粛対策事業補助金交付要領及び岩																																						
所属	部課名	農林水産部 農林課																																						
	課長名	尾坪 明																																						
	係 名	農政係	電話	0192-27-3111																																				
	担当者	山下 浩幸	内線	7122																																				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)																																		
・東京電力原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、飼料の暫定許容値を超過し、利用自粛の要請対象となった牧草の処理を促進を図るため、市町村が岩手県利用自粛牧草等処理円滑化事業実施要領に基づいて岩手県利用自粛牧草等処理円滑化事業を行う場合に要する経費に対して市が補助する場合に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。 ・利用自粛公共牧場以外の公共牧場において、牛の放牧等を行う場合における畜産農家の負担の軽減を図るため、畜産農家、農業協同組合等が、実施要領に定める公共牧場広域利用事業、預託施設利用事業及び自家施設等利用事業を行う場合に要する経費に対して市町村が補助する場合に要する経費並びに利用自粛公共牧場において、早期に牛の放牧の再開を図るため、畜産農家等が実施要領に定める耕起不能箇所隔離事業を行う場合に要する経費に対して市が補助する場合に要する経費及び市が耕起不能箇所隔離事業を行う場合に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。						総投入量 (千円) <table border="1"> <tr> <td>事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					事業費	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源		人件費	事業費計 (A)	0		正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計 (B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
事業費	国庫支出金																																							
	都道府県支出金																																							
	地方債																																							
	その他																																							
	一般財源																																							
人件費	事業費計 (A)	0																																						
	正規職員従事人数																																							
	延べ業務時間																																							
	人件費計 (B)	0																																						
	トータルコスト(A)+(B)	0																																						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 除染作業申込数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 公共牧場広域利用事業申込数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ 利用自粛牧草一時保管農家数</td> <td>件</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 除染作業申込数	件	イ 公共牧場広域利用事業申込数	件	ウ 利用自粛牧草一時保管農家数	件
名称	単位										
ア 除染作業申込数	件										
イ 公共牧場広域利用事業申込数	件										
ウ 利用自粛牧草一時保管農家数	件										
前年度実績(前年度に行った主な活動)											
・除染の前植生処理(刈払い・除草剤散布) ・公共牧場広域利用事業(牛の預託、自家施設等利用) ・耕起不能箇所隔離事業(牧柵設置)											
今年度計画(今年度に計画している主な活動)											
・公共牧場広域利用事業(牛の運搬、牛の預託、自家施設等利用) ・放牧場の開牧に向けての準備											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
・除染対象面積 ・畜産農家保有牛 ・畜産農家が一時保管した利用自粛牧草		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 除染対象面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>キ 畜産農家保有牛</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>ク 畜産農家が一時保管した利用自粛牧草量</td> <td>t</td> </tr> </table>		名称	単位	カ 除染対象面積	ha	キ 畜産農家保有牛	頭	ク 畜産農家が一時保管した利用自粛牧草量	t
名称	単位										
カ 除染対象面積	ha										
キ 畜産農家保有牛	頭										
ク 畜産農家が一時保管した利用自粛牧草量	t										
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
・牧草地の除染完了面積 ・公共牧場広域利用事業対象牛 ・一時保管が完了した利用自粛牧草量		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 牧草地の除染完了面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>シ 公共牧場広域利用事業対象牛</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>ス 一時保管が完了した利用自粛牧草量</td> <td>t</td> </tr> </table>		名称	単位	サ 牧草地の除染完了面積	ha	シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭	ス 一時保管が完了した利用自粛牧草量	t
名称	単位										
サ 牧草地の除染完了面積	ha										
シ 公共牧場広域利用事業対象牛	頭										
ス 一時保管が完了した利用自粛牧草量	t										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											
・安定して農業を営む。											

(2) 総事業費・指標等の推移		年度						
	単位	年度						
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円		4,702	6,526	5,057		
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円		1,294	2,185	1,825		
	事業費計(A)	千円	0	5,996	8,711	6,882	0	0
	正規職員従事人数	人		1	1	2		
	延べ業務時間	時間		300	1,200	600		
	人件費計(B)	千円	0	1,200	4,800	2,400	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	7,196	13,511	9,282	0	0
⑤活動指標	ア	件		35	35	35		
	イ	件		33	33	33		
	ウ	件		15	15	0		
⑥対象指標	カ	ha		82.4	444.63	444.63		
	キ	頭		245	220	220		
	ク	t		34.71	57	57		
⑦成果指標	サ	ha		18.53	29.69	0.29		
	シ	頭		154	107	100		
	ス	t		0	57	57		

事務事業ID	1576	事務事業名	放射性物質被害畜産総合対策事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

・東京電力原子力発電所の事故に伴う放射性物質の影響により、市内の牧草が暫定許容値を超え、利用自粛となったため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・岩手県公共牧場利用自粛対策事業補助金交付要領

・岩手県利用自粛牧草等処理円滑化事業費補助金交付要領

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・早期の除染作業対応を求められてる。

- ・夏虫山放牧場の除染終了箇所の利用を求められている。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ ・牧草地の除染や利用自肅公共牧場の代替措置を実施することは、市内の畜産農家にとって、農業経営の安定化に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 一個人の畜産農家では、除染作業や公共牧場の広域利用は限界がある。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ ・畜産農家や牧草地土地所有者に限定されているので、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ ・業務内容は、東京電力原子力発電所の事故前と同じ状況に戻すためなので、成果の向上余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ ・除染作業や一時保管牧草の移動など、東京電力原子力発電所の事故前と同じ状況に戻さないと、畜産農家の経営が成り立たない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他の事業で、類似事業がないため、統廃合できない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・事業費は、主に県補助金の範囲内で支出しているため、削減余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ・事務手続きや現場確認、畜産農家への説明などを実施するようなので、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ ・この事業の対象である畜産農家や牧草地土地所有者は、東京電力原子力発電所の事故前と同じ状況に戻すための事業であるので、受益者負担は公正である。

事務事業ID	1576	事務事業名	放射性物質被害畜産総合対策事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	・除染の前植生処理を実施し、刈払い及び除草剤散布を行ったが一部の圃場のみで作業が留まった。(他は耕起不能箇所) ・公共牧場広域利用事業により、県北の放牧場に牛の運搬、預託を行った。 ・県農業公社による除染作業は、夏虫山放牧場の採草地が完了したため、耕起不能箇所隔離事業(牧柵)設置を行った。 ・畜産農家で一時保管していたH23年産牧草を、夏虫山放牧場の乾燥舎に集中保管した。																	
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・畜産農家等の牧草地の除染作業が進むよう、県農業公社と連携して、事業を進める。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上維持		●	×															
	低下		×	×															
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																			
・牧草地の耕起不能箇所の取扱いを検討する。 ・夏虫山放牧場の牧草地の取扱いを検討する。 ・一時保管した牧草の焼却等の最終処分の方法が未確定である。																			

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	農林課長 尾坪 明

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合

①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている	②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)
---	---

(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由
① 目的妥当性 ② 有効性 ③ 効率性 ④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり

(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																	
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・一時保管している牧草等について、早急に処理方法を決める必要があり、国・県に強力に要望していく。	左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持		●	×														
	低下		×	×														

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
